



松谷 福三
(平政会)

庁舎整備に係る財政運営と地元発注

質 市民は実質的な借金の総額がふえていくのか減るのか不安である。将来的な市債残高と実質公債費比率を示すべきでは。また、建設は地元発注とすべき。

答 庁舎建設を前提としたシミュレーションでは、起債残高は27年度の約303億円、償還額は32年度の約34億8000万円をピークに減少していく見込みである。実質公債費比率は34年度あたりから比率の改善が想定できる。また、実際に庁舎整備を行う段階で、できるだけ多くの地元業者がかかわることができるよう検討したい。

行財政改革と内部統制

質 縦割りの弊害が克服されず、内部統制の乱れで、真の行財政改革が軌道に乗っていないように思われる。今後、新たな対策、見直し等がなされるのか。

答 現在も、例えば予算要求に係る臨時職員等の賃金単価等の統一や決裁における関係部署への合議など一定程度はシステムとして整備しているが、十分でない事務処理があると考えられる。当面は現在の内部統制システムを徹底し、事務の遂行における横断的連携を徹底したい。また、職員の意識改革にも取り組みたい。

その他の質問事項

- ・ 庁舎整備と中心市街地活性化との関係
- ・ 庁舎整備における省エネルギー対策



菅原 隆文
(よねしろ会)

庁舎整備推進

質 庁舎整備の一般質問は4年半で10人16回。付託や委員会でも質疑があり、議会では審議されたが、「市民の意見を聴く会」開催や節目の再アンケートで、基本計画に生かすべき。

答 現時点で市民に説明できるのは、市議会や市民の中で整備の方向性はできていたと思つてのこと、この時期に整備の提案をすることが我々の責任と思つていて、市主催の説明会や意見交換会は計画が具体的になった段階で検討したい。再アンケートは市議会や市民懇話会等の意見を伺いながら検討したい。

二ツ井地区の下水路整備

質 合併浄化槽の整備は15年たつても40%の普及率。設置スペース難、高齢化や人口減、空き家の増加等で整備が進まない。中心部の下水路について、抜本的な変更も含め総合的整備を。

答 排水処理対策は、整備構想に基づき今後も合併浄化槽で整備していくが、整備の必要性の啓発に努めるほか、スペース確保が困難な箇所については車庫スペースの活用や住宅増改築時の設置を提案している。下水路整備については、財政状況などを考慮しながら検討したい。

その他の質問事項

- ・ 庁舎の現状見学の充実・継続を
- ・ 朝鮮半島の状況、市長の考えは
- ・ 有事のとき、保護計画は機能するか



信太 和子
(市民連合)

庁舎整備

質 住民は矢継ぎ早の公共工事の経済効果を疑問視している。「議会や住民と十分に論議を尽くす」との約束であった。市長責任として住民説明は十分であったか。

答 庁舎整備の市の方針は、広報紙等で市民に説明している。これまでの市議会での報告や質問、審議などの議論のプロセスも市民への説明責任を果たす方法の一つと考えている。今後、庁舎見学会の開催も含めて、検討状況を随時提供するとともに、市議会や市民懇話会等の意見を伺いながら庁舎整備の検討を進めたい。

北能代風力発電

質 北能代風力発電が騒音・低周波音等で問題になることが懸念される。住民の健康と生命を守るこのことだが、情報収集の現状はどうか。住民説明の地域範囲はどう考えているか。

答 10月7日に環境省の風力発電施設に係る実態把握調査について報道発表があり、引き続き調査動向の情報収集等に努めていく。風力発電設置の住民説明と地域範囲に関するガイドライン等がないため、市として地域範囲を判断することは難しいが、事業者が隣接自治会へ十分説明を行うことや内容の報告を求めている。

その他の質問事項

- ・ (仮称)イオン新能代ショッピングセンター
- ・ 旧能代産業廃棄物処理センター
- ・ 東北新幹線と観光